

## 第4章 第2期実施計画の取り組み

### 重点目標①

参加するほど楽しくなるまち NAKANO

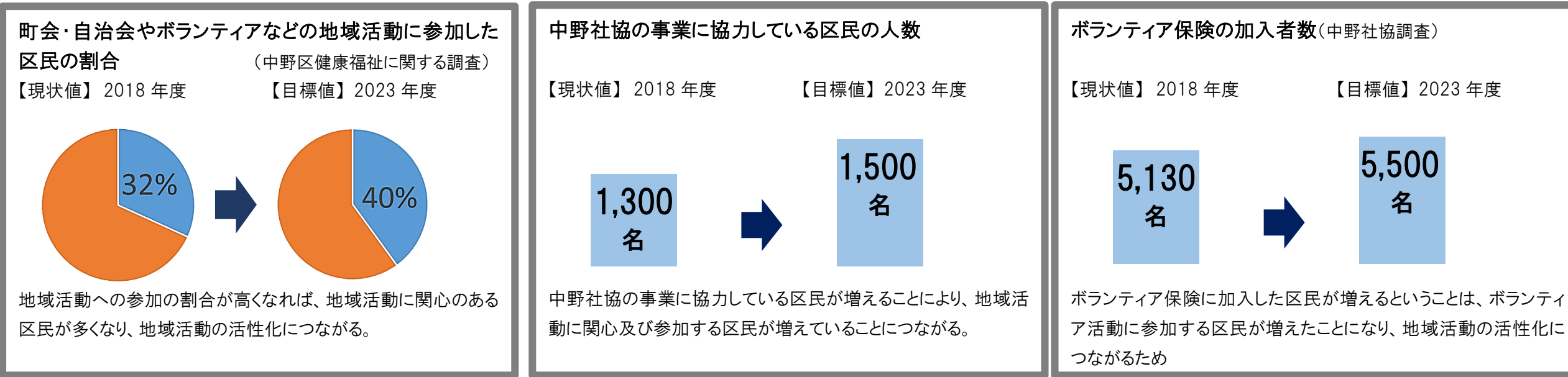
### ＜5年後のあるべき姿＞

子どもから高齢者、障害や病気を抱えている人も含め、誰もが地域や社会に参加する機会を持ち、自分らしくやりがいや充実した生活を送ることができること。住民同士が声をかけあい、困った時には協力し、必要な時には力を貸せるようなつながりができるまちを目指します。

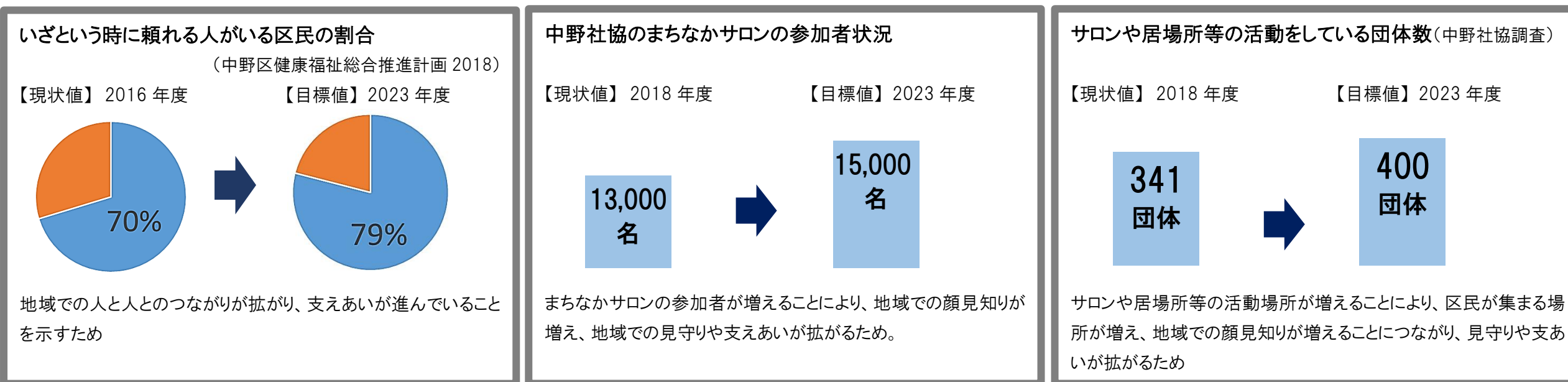
	社協の取り組み（社協が取り組むこと）	区民の取り組み（区民一人ひとりが取り組むこと）	地域団体・関係機関等の取り組み（町会・自治会・民生児童委員・ボランティアグループ・企業・商店街・社会福祉法人等が取り組むこと）	行政の取り組み（行政が取り組むこと）
（ア）地域の活動に参加して、人に出会い、新たな自分を発見します	<p>区民が地域活動に参加するために、場づくりや情報発信、地域活動へのコーディネート強化します</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域活動に参加するきっかけを作り、区民に働きかける まちなかサロンや居場所を拡げ、地域の人がいいつでも立ち寄り・参加する場（拠点）をつくる</li> <li>● 地域課題や地域活動の関心を高める講座を実施し、講座に参加した区民を活動につなげるためのコーディネートを行う</li> <li>● 地域の様々な情報の発信を強化し、必要な人に住民同士が情報を伝え合うような仕組みづくりを進める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 興味があることや趣味等、自分ができることから地域の活動に参加する</li> <li>● 地域のイベントを開催する時には、子どもや学生、若い世代、外国人、障害のある方を含めた多世代多様な文化の人々を誘い、交流する機会をつくる（地域の人がかきかけをつくり、参加する場をつくる）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分のできることから活動に参加してもらえるよう、多様なメニューや時間での活動をつくる</li> <li>● 地域のイベントを一緒に企画・運営することにより、団体同士のつながりをつくる</li> </ul>	<p>＜中野区健康福祉総合推進計画 2018 より＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 町会・自治会による地域自治活動の推進</li> <li>● 幅広い区民の社会参加促進</li> <li>● 地域支えあい活動の担い手拡大</li> <li>● 区民の学習活動支援の推進</li> <li>● 高齢者の就業支援</li> <li>● 老人クラブの活動支援</li> </ul> <p>＜中野区地域包括ケアシステム推進プランより＞</p>
（イ）あなたの経験や力が困っている人を助けます	<p>区民同士の支えあい活動を拡げるために、相談窓口を区民と一緒に設置します</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 関係機関の協力を得て地域の困りごとの相談窓口を地域住民と設置し、区民とともにその解決に取り組み、区民による支えあい活動の推進を図る</li> <li>● 地域で活動している様々な人や団体等を紹介する場を作り、地域活動の活性化を進める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 近隣の人に挨拶や声かけを行い、日頃から顔の見える関係作りを積極的に行い、困ったときには助けあう</li> <li>● 困っている人や課題を抱えた人に気づいたら、声をかける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域の課題や困っていることを住民に発信し、一緒に考え行動する場をつくる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 活動内容別の担い手養成講座の実施</li> <li>● 町会・自治会の次世代の担い手確保に対する支援</li> <li>● 地域での仲間づくりや日常的に運動を行うことのできる場の確保</li> <li>● 高齢者の就労・起業支援、生きがい就労などの緩やかな就労の促進</li> </ul>
（ウ）声をかけ顔の見える関係が居心地のいいまちを作ります	<p>社会的孤立を抱えている人たちを発見し、誰もが暮らしやすいまちを作ります</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 区民や関係機関と一緒に、中高年のひきこもり（40歳代から60歳代）や地域とのつながりが持てにくい方の居場所の活性化を行う</li> <li>● 関係機関と協働でのアウトリーチにより、課題を抱えている人との接点をつくる</li> <li>● 区内社会福祉法人に働きかけ、連携しながら就労支援等による社会参加を進める</li> <li>● 認知症や障害があっても、住み慣れた中野のまちで自分らしく住み続けられるよう、地域とのつながりや関係機関との連携強化をする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 住民同士が声をかけあい、地域とのつながりや接点を持つことが難しい方に情報を伝え、地域に参加するきっかけをつくる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 日ごろ地域とつながりのない若い世代や学生が参加するための情報発信や活動の場を作り、アプローチを積極的に行う</li> <li>● 障害のある方や課題を抱えている方と一緒に活動する場を作り、声をかけ交流する機会をつくる</li> <li>● 住民の相談や困りごとを受け止め、一緒に解決するネットワークづくりを進める</li> </ul>	

## 成果指標と目標値

### (1) 地域活動に参加する区民を増やす



### (2) 地域とのつながりをつくる



※中野社協の目標値の2018年度の数字は推計で計算

※中野区が実施している調査の掲載年度については、調査結果として公表されている年度の数値を記載

※成果指標と目標値だけでなく、社協の事業を通じた成果や具体的な事例、社会資源の立ち上げなど、地域の状況をいきいきプラン推進委員会で確認していく

重点目標②

多ジャンル共生でつくるまち NAKANO

<5年後のあるべき姿>

中野で活動している団体や企業、住民が集まり情報交換や学びあい、お互いの強みをいかし協働することにより新たな活動を生み出す場をつくる。その場を通じて必要な人に情報を届け、地域の課題を解決するために行動することを目指します。

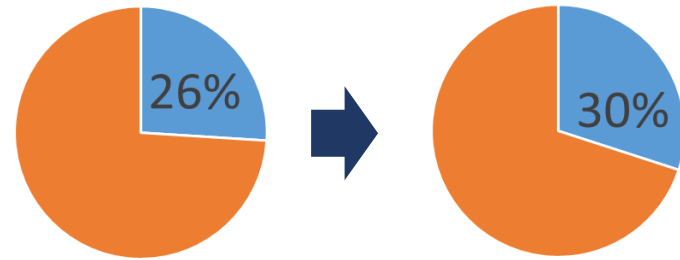
	社協の取組み（社協が取り組むこと）	区民の取組み（区民一人ひとりが取り組むこと）	地域団体・関係機関等の取組み（町会・自治会・民生児童委員・ボランティアグループ・企業・商店街・社会福祉法人等が取り組むこと）	行政の取組み（行政が取り組むこと）
(ア) 中野で活動している団体や企業が集まり、アイデアを出し合い中野のまちを協働で活性化します	<p>多ジャンルが集まる場をつくり、情報交換やネットワークづくりを進めます</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 社協が中野で活動している団体同士の情報交換の場を作るとともに、地域の課題について、区民・団体へ発信をしていく</li> <li>● 社協が地域の課題と一緒に考え学ぶ機会を作り、様々な団体や企業等とのコラボレーションを事業の中で実施していく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 住民同士が集まる場を作り、仲間づくりや地域のつながりづくりを行い、活動の活性化を行う</li> <li>● 商店街や地域のお店、地元の企業に声をかけ、居場所や活動の拠点づくりの協力と一緒に地域の新たな活動をつくる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域の活動やイベントに参加し、お互いに顔の見える関係を作るために、情報交換を行う</li> <li>● 福祉分野だけでなく、まちづくりや外国人の支援、LGBT支援等多様な分野で活動している団体と集まる場を作り参加します</li> <li>● 住民からの相談や協力依頼を受け止め、関係機関や専門職との連携を強化していくことを目的に、情報交換や話し合いをする場をつくる</li> </ul>	<p>&lt;中野区健康福祉総合推進計画 2018 より&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 関係団体・機関のネットワークの推進</li> <li>● 区民団体の公益活動の支援</li> <li>● 地域住民が組織する区民活動センター運営委員会への支援</li> <li>● 地区担当（アウトリーチチーム）による取組</li> <li>● 地域包括ケア体制を推進する会議体の運営</li> </ul> <p>&lt;中野区地域包括ケアシステム 推進プランより&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地区担当（アウトリーチチーム）が、社会福祉協議会、区民活動センター運営委員会など地域の現状を把握している団体・組織との連携を図りながら、地域資源の把握・発掘及び住民主体活動の立ち上げ支援を行なう</li> <li>● 地域資源のコーディネート力の向上</li> <li>● 社会福祉協議会の地域担当と地域包括支援センター、地区担当（アウトリーチチーム）との連携</li> </ul>
(イ) それぞれの活動団体や企業等の強みや得意分野をいかし、地域の困りごとや課題を解決するために行動します	<p>地域の課題を解決するための仕組みをつくります</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 社会的に孤立しがちな独り暮らし高齢者が、住み慣れた地域で安心した在宅生活ができるよう、地域とのつながりづくりの支援と今後の生活不安に寄り添ったメニュー開発を、社協が企業、関係機関との連携で行う</li> <li>● 社協が子ども食堂、子どもの学習支援活動に取り組む団体のネットワークを強化し、子どもの貧困問題への地域への関心を高め、企業等をはじめとする多様な団体の連携による寄付物品の流通、多世代交流型サロン等新たな支援活動を行う</li> <li>● 生活困窮により社会的孤立に陥る若者や利用できる制度につながらず困っている区民に対し、社協が活動団体や関係機関と連携しながら、地域とのつながりや地域での生活を支えてく仕組みをつくる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域の気になる課題や困りごとを解決するために、関心のある住民や実際に困っている住民が集まり勉強する機会をつくり、一緒に考え行動する</li> <li>● 商店街や地域のお店、地元の企業に声をかけ、必要な資金等を集めて支援する仕組みをつくる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域課題の情報収集や地域とのつながりをつくるために、共に学んだり情報交換をする場を作り、資金等の支援などそれぞれの強みをいかした活動を積極的に行う</li> <li>● 活動の分野ごとではなく、同じ地域で活動している団体同士が顔を合わせる機会を作り、活動のコラボレーションや協力できることを話し合う</li> </ul>	

## 成果指標と目標値

地域住民が交流する居場所が地域にできていると感じている区民の割合  
(中野区健康福祉に関する意識調査)

【現状値】 2018 年度

【目標値】 2023 年度



地域住民が交流する居場所ができていると感じる区民が増えれば、人と人のつながりや地域とのつながり、様々な活動団体とのつながりが高まり、新たな地域活動につながる事が考えられるため

地域活動等をしているボランティアグループ・NPO 団体等の数  
(中野社協が把握している団体)

【現状値】 2018 年度

【目標値】 2023 年度



地域活動等をしているボランティアグループや NPO 団体が増えることにより、地域の課題に取り組む団体が増え、ネットワークや連携が広がっていくため

※中野社協の目標値の 2018 年度の数字は推計で計算

※中野区が実施している調査の掲載年度については、調査結果として公表されている年度の数値を記載

※成果指標と目標値だけでなく、社協の事業を通じた成果や具体的な事例、社会資源の立ち上げなど、地域の状況をいきいきプラン推進委員会で確認していく